

園芸デザイン部では、ハーブを利用したガーデンの制作に取り組んだ。ハーブだけではなく、小果樹を組み合わせた花壇の制作に挑戦した。

小果樹を組み合わせたハーブガーデンの制作

園芸デザイン部では、ミツバチが採利用する植物を使用したガーデンの制作に力を入れてきた。このガーデンにはレモンを中心にしてレモン系のハーブ（レモンバジル・レモンタイム・レモンバーム・レモングラス等）を組み合わせたもの（「ハニービーレモンガーデン」と名称）や、セリ科のハーブ（フェンネル・ディル・アシタバ・ハマボウフウ・トウキ）を組み合わせたもの、ワイルドローズ（ハマナス等のローズヒップを利用できるバラ）を組み合わせたガーデン等を制作してきた。今年度は、ガーデン制作植物材料としてハーブと小果樹を使用して、ハーブガーデンの制作を行なった。

ハーブガーデンの制作手順



① 区画の整備



② 植物材料の配置



③ 定植

2018年4月～5月実施

- ① 2・5m×8m（半楕円形）の区画を枕木で作成し、培養土を入れた。消石灰を1平方辺り100gすきこんで整地を行った。
- ② 植栽に用いる植物の配置を行った。使用植物は宿根ハーブを中心に、小果樹を用いた（表-1）。同じ種類の植物グループ化し、三角形を意識して配置した。
- ③ 区画の枕木側の縁部に、ローズマリーを定植する。ローズマリーは矮性で這うタイプの種類を使用した。ローズマリーの内側にキャットミントを定植した。キャットミントとローズマリーの間に、ホーリーバジルを定植した。内側にブルーベリー・ラズベリー・マイヤーレモン・クコをグループで定植した。

表-1 使用植物

使用植物		使用数
ハーブ	ローズマリー（矮性）	15（3号ポット）
	キャットミント	30（3号ポット）
	ホーリーバジル	50（3号ポット）
小果樹	ブルーベリー	3（7号ポット）
	ラズベリー	3（6号ポット）
	マイヤーレモン	3（6号ポット）
	クコ	3（5号ポット）

小果樹を使用したハーブガーデンの完成

園芸デザイン圃場の一角に、制作したハーブガーデンは、元々セージ各種を栽培していた場所を整地したために、宿根タイプのセージが雑草のように生えて、管理作業が大変だった。また乾燥が激しく、灌水が十分に行えなかった為に、ブルーベリーが一株枯れてしまった。8月にはハーブガーデンは右の写真のような状態となった。

まとめ

小果樹を組み合わせた、ナチュラル風のハーブガーデンの制作を目標に研究に取り組んだ。使用した小果樹はまだ小さいために目標としたナチュラル風のガーデンの姿になっていないが、3年後を目標に栽培管理を行う。果樹の果実とハーブを組み合わせ、見るだけでなく利用を楽しめるガーデン研究を継続したい。

